

有限会社フクオカ機業

京都府京都市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

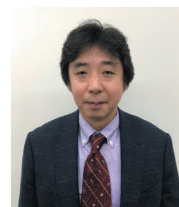
ポイント

西陣織の技術で、機能とデザイン性を兼ね備えた炭素繊維の織物を織る

- 西陣織の伝統技術を活かし、シャトル織機を改良して、炭素繊維などによりハイテク織物を製造
- 高齢者から20代の若者まで、幅広い年代の人材を雇用し、円滑に技術継承
- 織機の改良や樹脂加工技術の開発により、炭素繊維で意匠性の高い織物を織れる世界で唯一の企業となる

企業基本情報

所在地	京都府京都市上京区浄福寺通五辻東入一色町35番地の7
電話/FAX	075-441-0235/075-441-0549
URL	http://www.fukuoka-k.co.jp/
代表者	代表取締役 福岡 裕典
設立	1902年
資本金	500万円
従業員数	8人



会社概要

1902年の創業以降、常に時代を先駆ける織物開発を行っている。近年は、西陣織の代表的なシャトル織機を改良し、炭素繊維のような高機能繊維でも横糸が連続する耳付織物として商品化。また、ジャカード織機を用いることにより、炭素繊維に他の繊維を組み合わせ、意匠性の高い特殊織物を開発することにも成功した。高機能繊維を用いた同社の製品は、自動車、産業資材、鞆等のファッション分野まで多岐にわたる。

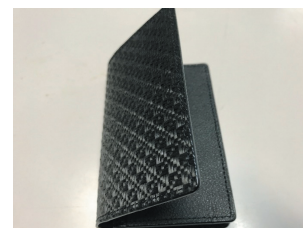


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

西陣織の技術で炭素繊維を織り、自動車や産業資材等にも活用

同社は、「西陣の帯メーカーとしての技術を新たな分野に活かしたい」と、西陣織の代表的な織機であるシャトル織機を改良して、軽い、強い、腐食しない等の特長を持ち、幅広い用途への活用が期待される炭素繊維を織ることに成功した。自動車や産業資材から鞆等のファッション小物まで、多様な分野で実用化が進んでいる。近年は、見本の段階を終えて本生産に移行し、売上も大幅に伸びている。



活用例：カーボン名刺入れ

優れた職人から未経験の若者へ、社内でしっかりと技術指導

社内には、西陣の産地でトップクラスの、皇族への献上品を製作した職人もおり、伝統的な西陣織の高度な技術も、炭素繊維を織る特殊技術も、同社内で円滑に技術継承されている。昨今、伝統工芸に関心を持つ若者が増えており、同社の評判を聞いた若者から常に入社希望がある。西陣織の産地では、技術を要するため、新規雇用の場合も経験者を募集するが、同社は未経験の若者を積極的に雇用しており、現在の同社従業員の約半分は20代。



伝統工芸の帯を織る若手従業員

炭素繊維で意匠性のある織物を織れる世界で唯一の企業

1998年頃、現社長が、同社の西陣織の技術を活かして、軽く強く耐久性等にも優れる炭素繊維の製品化を決意。折れや擦れに弱い炭素繊維を、織機を改良して、織ることに成功。あわせて、毛羽立ちやすい炭素繊維の生地に特殊な樹脂加工を施す技術も開発。炭素繊維と他の繊維を組み合わせることも考案して、炭素繊維で意匠性のある織物を織れる世界で唯一の企業となる。同社の技術は、日本の大企業や欧州ブランドからも高く評価されている。



中幅シャトル織機